

# カメハメハ倶楽部

## 生命保険コラム vol.021

### なぜ投資の勝ち組は生命保険で外貨建て運用をするのか？

円安・ドル高が急速に進んでいます。

今回は、意外に活躍している、  
生命保険での外貨運用商品の仕組みについてお伝えします。

外貨運用商品というと、

- ・外貨預金
- ・外債
- ・海外不動産

をはじめとした各種運用商品があり、

生命保険で運用商品なんてあるの？  
なんか弱そう・・・と思われる方も多いと思いますが、

実は、生命保険には、隠れたヒット商品である

「ターゲットタイプ」と呼ばれる特殊な外貨建ての運用商品があります。

筆者も、このタイプの商品を数十億円販売した経験がありますが、  
実は保険業界のなかでは、  
数兆円を軽く超える大ヒット商品となっています。

仕組みはいたって簡単です。豪ドル建て商品の場合

- ・日本円で保険料を入金（為替手数料50銭）
- ・10年間、主に豪ドル債で運用
- ・10年の間に、円建てで1度でも時価が120%の金額に  
タッチしたら、そこが満期

- ・満期時に円転して受け取る（為替手数料3銭）
- ・所得税の申告（5年以下は20%源泉分離課税、5年超は一時所得）

という仕組みです。

たとえば、1000万円を投資し、  
債券運用と円安が進んで1200万円の時価になったら  
強制的にそこで満期となる、オプション取引のような仕組みです。

もし、1000万円を投資して円安が進み、ある日1200万円になると、  
翌日に急激な円高で800万円の時価まで落ち込んだとしても、  
120%の金額に一度タッチしていますから、  
1200万円という金額が確保され、満期になるという仕組みです。

- ・債券運用メインで年2～3%程度で回しつつ
- ・為替で円安になる

という2つの動きで、時価120%に到達すればそこで満期です。

そのため、ここ2・3年以内に筆者が取り扱った投資家の生命保険は、  
この1年でほとんどが満期を迎えています。

つまり、2年で120%、3年で120%という結果が、  
保険の運用の世界でもゴロゴロ存在しているということです。

●外貨ベースでは債券運用だけでも通常は120%にタッチ

ちなみに、1度も120%にタッチせずに10年を経過すると  
10年後に一般の満期を迎え、130%程度に増えて返ってきます。

・・・ここで疑問が浮かぶはずですが。

10年で130%になるのであれば、  
8年目、9年目くらいに120%になっているのでは？ というものです。

実は、その疑問のとおりで、保険資産の時価は、

1年目	102%
3年目	107%
5年目	112%
6年目	115%
7年目	118%
8年目	121%
9年目	124%
10年目	130%

と、債券運用メインだけでふえていくため、  
円高に振れなければ、債券運用メインで運用するだけでも、実際には  
8年目には120%にタッチしてしまいます。

保険の契約時には、いったん10年という運用期間を設定するものの、  
実態は、それよりも早く満期を迎えるケースが多いのです。

最後、満期になったら、円転だけでなく  
豪ドルのまま受け取ることもできます。

そして運用収益は、5年以内は20%源泉分離課税。  
5年を超えると一時所得となるため、50万円の非課税枠もあり、  
株や不動産、投信と比較して、  
税引き後の手残りを大きく増やすこともできます。

入口50銭、出口3銭という為替手数料の低さも、  
生命保険で外貨運用が選ばれるポイントのひとつです。

- ・外貨預金は金利が低い
- ・外貨預金は為替手数料が高い
- ・外貨預金の為替差益が雑所得のため手残りが少なくなる
- ・毎日為替を見て判断するのは大変
- ・5年程度で満期を迎える可能性があるものがある
- ・保険の場合、課税が20%または一時所得という優遇税制がつかえる

という点でニーズを感じる場合、  
保険で資産運用という選択肢もあると思います。

株や不動産と比べると、ボラティリティが低く見えるため、期待感は薄いですが、

- ・ 為替手数料
- ・ 出口が安定
- ・ 税制上で有利

という保険のよさを、ぜひ活用いただければと思います。

生命保険コラム vol.021 執筆：GTAC（2014年9月19日付）

\*\*\*\*\*

本資料は、一般的な生命保険活用スキームを示したものであり、データやスキームの正確性や将来性、投資元本の利回り等を保証するものではありません。また、本コラムは、平成26年4月1日現在の法令等に基づいて作成しており、今後変更される可能性もございます。

個別具体的な法令等の解釈については、税理士等の各専門家・行政機関等に必ずご確認いただくようお願いいたします。記載されている保険商品につきましては、概算値を表示しています。各スキームの導入時には契約概要、パンフレットを必ずご覧ください。

幻冬舎総合財産コンサルティングが提供するサイトのコンテンツは、特に記載がない限り弊社が保有しています。これらが無断で転載および二次使用することは禁止されています。